

測定評価実習

科目ナンバリング SPS-403
選択 1単位

本郷 仁吾

1. 授業の概要(ねらい)

トレーニングやアスレティックリハビリテーションを効果的に行うためには、現状や変化を知るために評価も実施しなくてはならない。なお、本授業は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの受験希望者を対象に開講する。したがって、2年次のスポーツ現場実習Ⅰ、3年次のスポーツ現場実習Ⅱ・Ⅳ、総合実習Ⅰ・Ⅱを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

本授業では、アスレティックトレーナーに必要な評価を実際に行えるようになることを目標とし、評価理論の復習および測定評価の実習を行う。

具体的な目標は以下とする。

- ・代表的な関節の可動域測定ができる。
- ・代表的な筋の徒手筋力検査ができる。
- ・主な動きの評価ができる。
- ・アスレティックリハビリテーションに必要な測定・評価ができる。

3. 成績評価の方法および基準

最終試験で評価を行う(100%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

日本スポーツ協会公認テキスト⑤『検査・測定と評価』 日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

3年次まで学んだことを、復習しておくこと

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 関節可動域測定の理論について学ぶ
- 【第3回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(実習):下肢
- 【第4回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(実習):上肢
- 【第5回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(実習):体幹
- 【第6回】 徒手筋力検査法の理論について学ぶ
- 【第7回】 徒手筋力検査の測定方法について学ぶ(実習):下肢
- 【第8回】 徒手筋力検査の測定方法について学ぶ(実習):上肢
- 【第9回】 徒手筋力検査の測定方法について学ぶ(実習):体幹
- 【第10回】 関節可動域測定のシミュレーション実技
- 【第11回】 徒手筋力検査のシミュレーション実技
- 【第12回】 動きのみかたについて学ぶ:歩き・走り
- 【第13回】 動きのみかたについて学ぶ:投げ
- 【第14回】 動きのみかたについて学ぶ:ジャンプ,ステップ
- 【第15回】 まとめ・テスト